

2026年3月期

# 決算短信補足資料

2026年5月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

1

**2026年3月期 決算の概要**

2

2027年3月期 業績予想の概要

3

参考情報

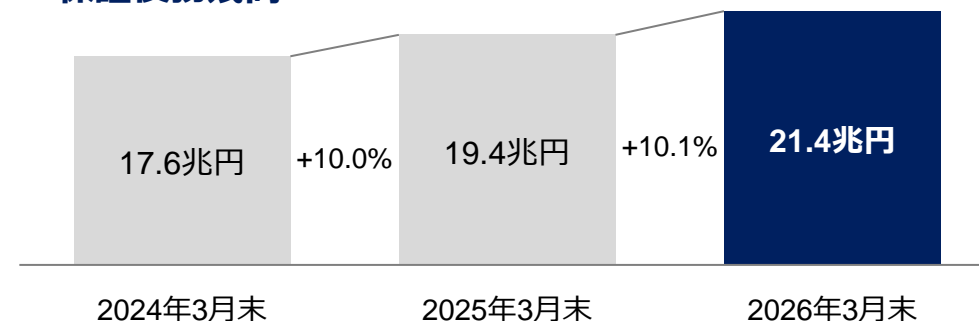
# 2026年3月期 決算サマリー (P/L)

✓ 保証債務残高が堅調に推移し増収、負ののれん発生益相当の持分法利益を営業外収益に1,193百万円計上

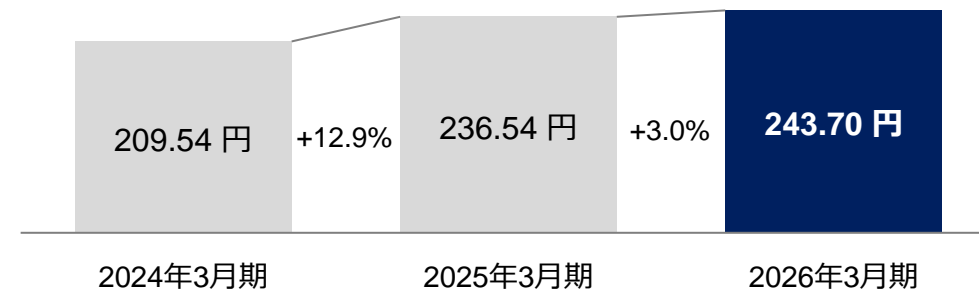
(単位：百万円)

	2025/3期	2026/3期	前期比
営業収益	56,972	58,739	3.1%
営業費用	14,997	17,357	15.7%
うち与信関連費用	4,096	5,550	35.5%
債務保証損失引当金繰入額	4,430	5,983	35.1%
貸倒引当金繰入額	▲334	▲433	-
うち給料手当及び賞与	2,594	2,739	5.6%
うちその他	8,306	9,067	9.2%
営業利益	41,974	41,382	▲1.4%
営業外収益	4,169	6,317	51.5%
営業外費用	1,626	1,145	▲29.6%
経常利益	44,518	46,554	4.6%
特別損益	1,235	27	▲97.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	32,089	32,526	1.4%

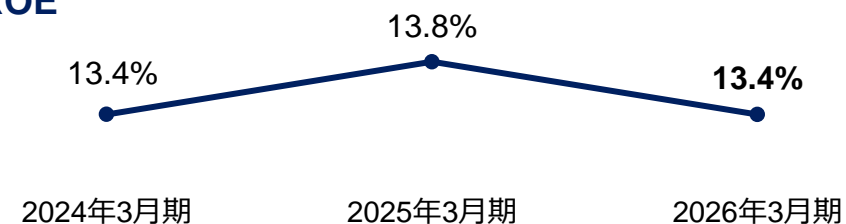
## 保証債務残高



## EPS(一株当たり当期純利益)

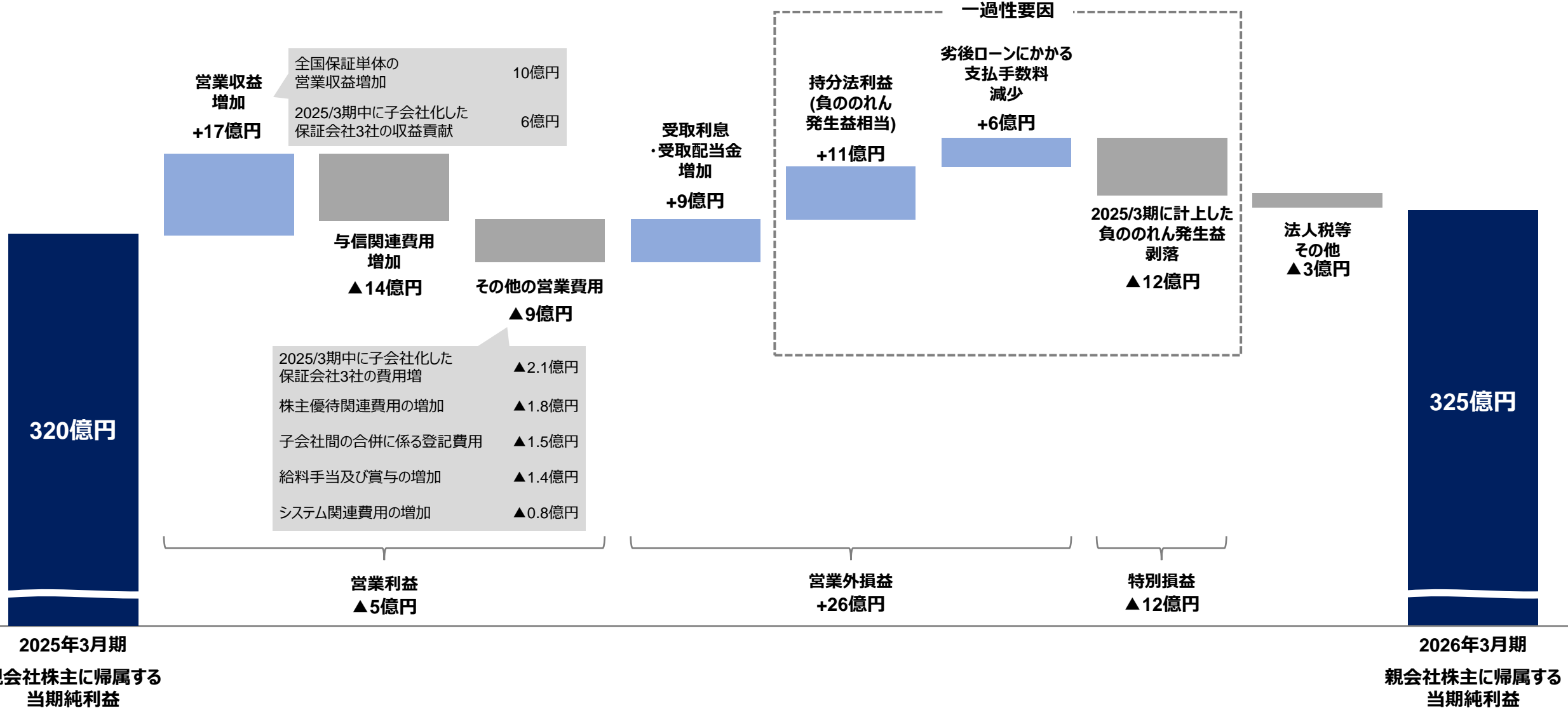


## ROE



# 親会社株主に帰属する当期純利益の主な増減要因

✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4.3億円の増加、負ののれん発生益等の一過性要因が生じている



# 2026年3月期 決算サマリー (B/S)

✓ 債券等の購入により有価証券・投資その他の資産が増加

(単位：百万円)

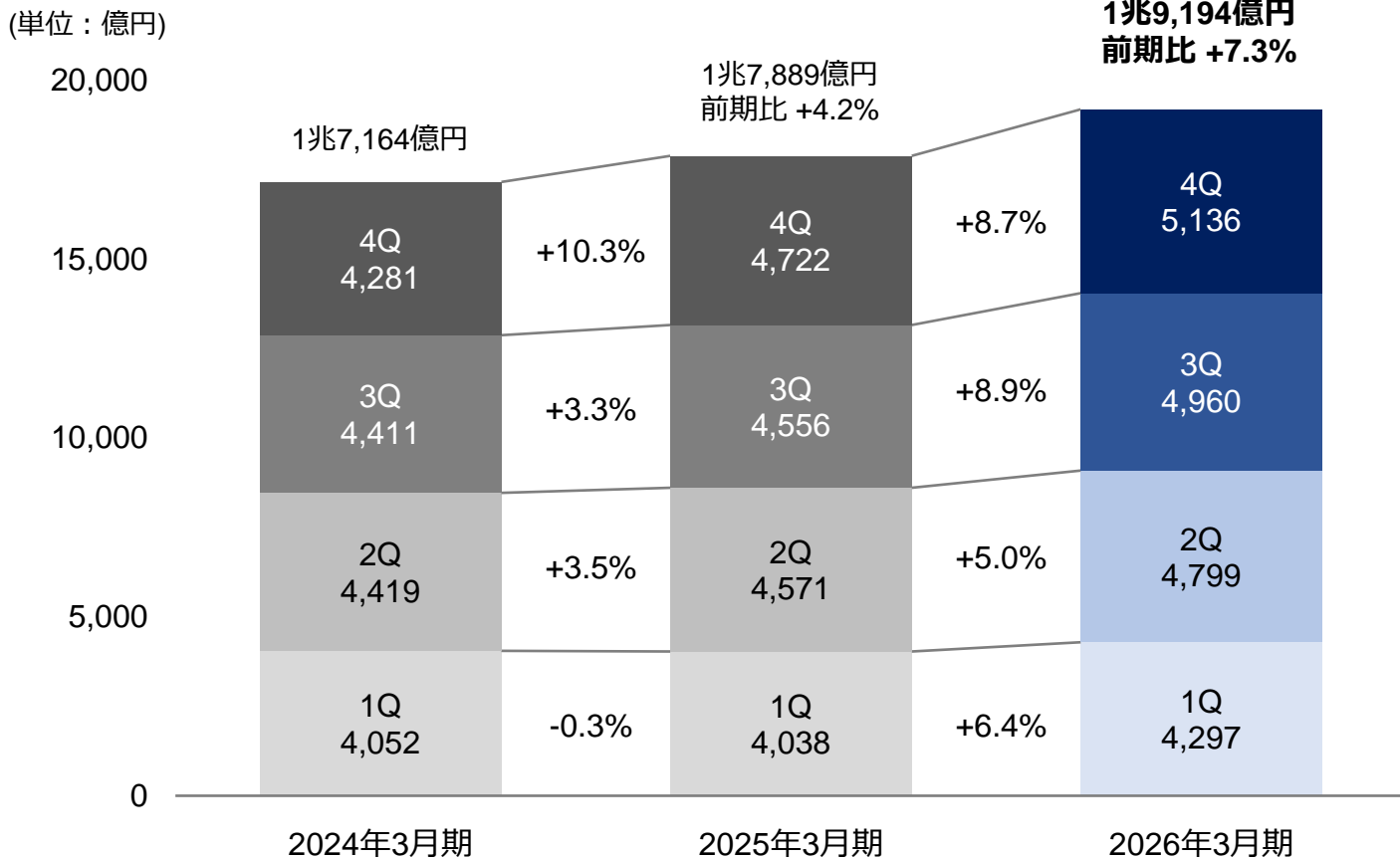
資産の部			
	2025/3期末	2026/3期末	増減比
流動資産	160,396	130,927	▲18.4%
現金及び預金	137,577	72,545	▲47.3%
求償債権	17,268	19,880	15.1%
有価証券	9,532	44,094	362.6%
貸倒引当金	▲8,339	▲9,905	-
固定資産	332,001	369,903	11.4%
投資その他の資産	328,588	366,959	11.7%
投資有価証券	285,124	309,145	8.4%
長期貸付金	14,515	23,544	62.2%
長期預金	23,000	28,000	21.7%
資産合計	492,398	500,831	1.7%

負債の部			
	2025/3期末	2026/3期末	増減比
流動負債	39,498	41,042	3.9%
前受収益	18,892	19,364	2.5%
債務保証損失引当金	8,528	9,181	7.7%
固定負債	214,221	214,640	0.2%
長期借入金	30,000	30,000	-
長期前受収益	183,552	183,985	0.2%
負債合計	253,719	255,682	0.8%
純資産の部			
株主資本	237,613	242,823	2.2%
その他の包括利益累計額	1,065	2,325	118.3%
純資産合計	238,678	245,148	2.7%
負債・純資産合計	492,398	500,831	1.7%

# 新規保証実行の状況 (オーガニック成長)

✓ 新設住宅着工戸数が低調な中、保証単価上昇が寄与し新規保証実行金額が増加した

## 新規保証実行金額



## 新規保証実行件数

2024年3月期: 56,446件  
 2025年3月期: 56,751件  
 2026年3月期: 57,370件

## 2026年3月期の取り組み

- **子育て世代を対象とした応援プログラムを継続**  
 ・40歳未満を対象として、返済負担比率や保証料を優遇
- **商品基準改定や団体信用生命保険のラインナップ拡充**  
 ・収入合算や建物面積に関する商品基準を改定  
 ・連生団信をラインナップに追加
- **DX化サービス提供による利便性向上**  
 事前審査申込に特化したWeb受付サービス(WSS)や、金融機関・住宅事業者・エンドユーザーをつなぐマイページサービス(ZEWS)を提供

## 新規住宅ローン市場

当社新規保証実行金額  
**1.9兆円**

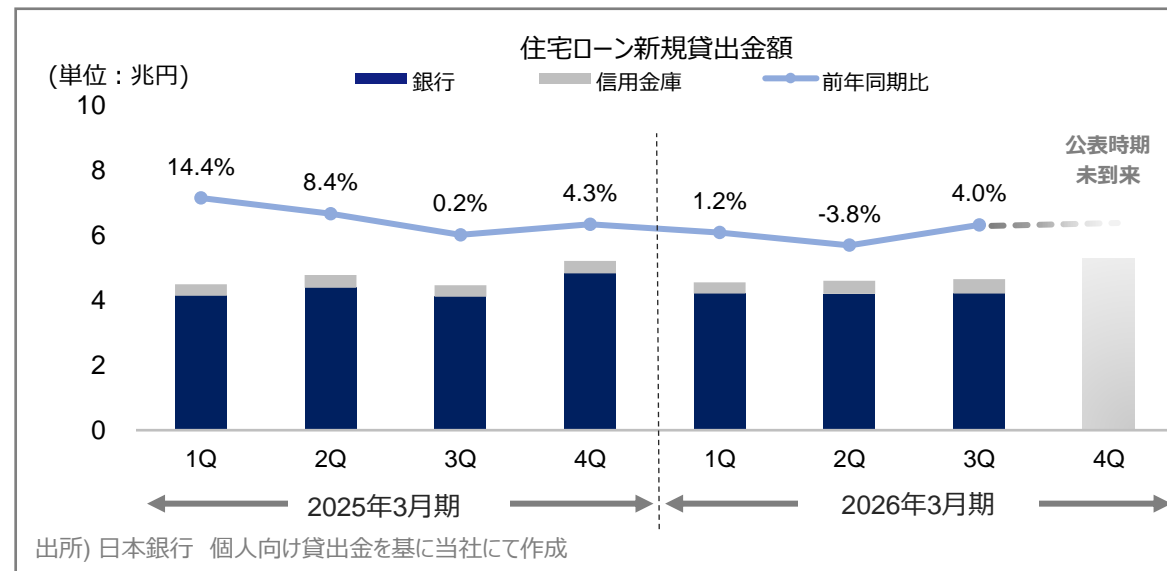
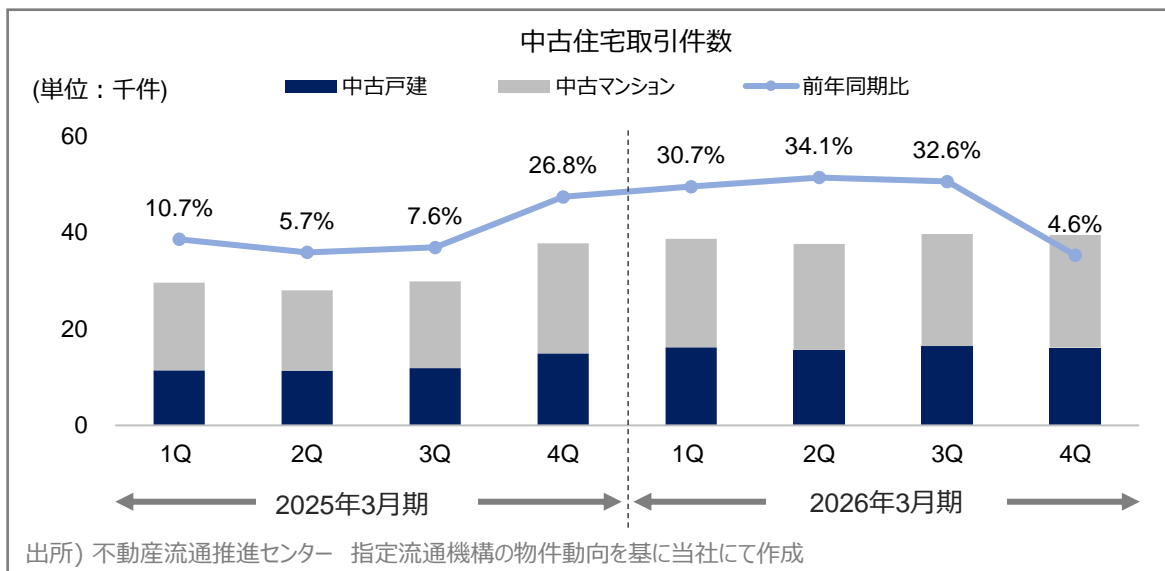
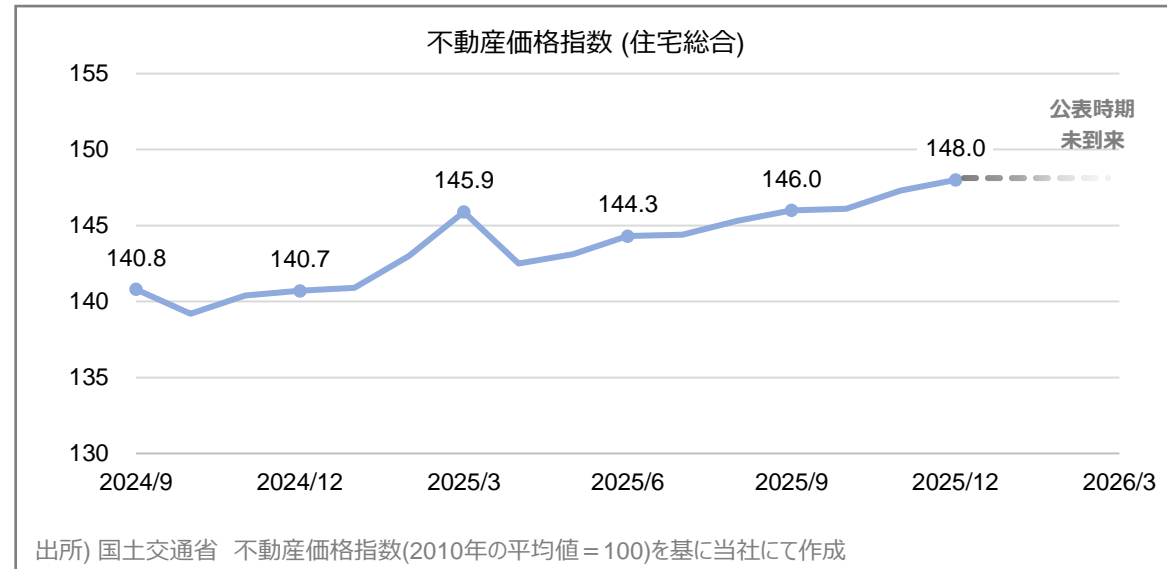
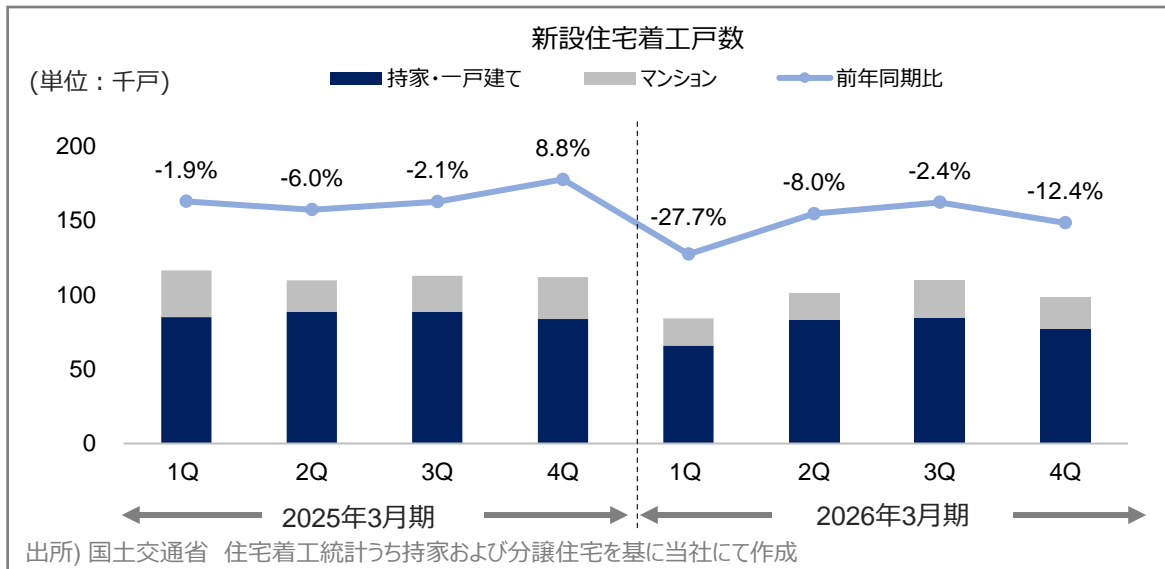
獲得可能な市場

新規住宅ローン貸出金額 約**21兆円**

出所) 住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」

# 住宅市場および住宅ローン市場

## ✓ 新設住宅着工戸数が前年を下回る一方、中古住宅取引件数は堅調に推移している



# 既存住宅ローン市場からの保証債務残高獲得 (インオーガニック成長)

✓ 金融機関のリスク外部移転ニーズは根強く、前期を上回る1兆5,791億円を獲得した

## 既存住宅ローン市場からの保証債務残高獲得実績

手法	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
M&A	306億円 東日本保証サービス	8,695億円 ちば興銀カードサービス 三重総合信用 東北保証サービス	-
ABL貸付・RMBS	6件 5,841億円	2件 3,040億円	4件 1兆5,791億円
損失補填	1件 2,400億円	-	-
獲得実績合計	8,548億円	1兆1,736億円	1兆5,791億円

## 2026年3月期の取り組み

- 金融機関のニーズに合わせたリスク引受を実施
  - ・ABL貸付を通じてリスクを引受
  - ・金融機関としては、リスクウェイト低減によるRORA・自己資本比率改善のメリットがある
- 金融機関の需要は継続
  - ・前期を上回る1兆5,791億円を獲得
  - ・既存住宅ローン市場は210兆円超の巨大市場
  - ・金融機関の需要も根強く、さらなる成長余地がある

## 既存住宅ローン市場

当社保証債務残高  
21.4兆円

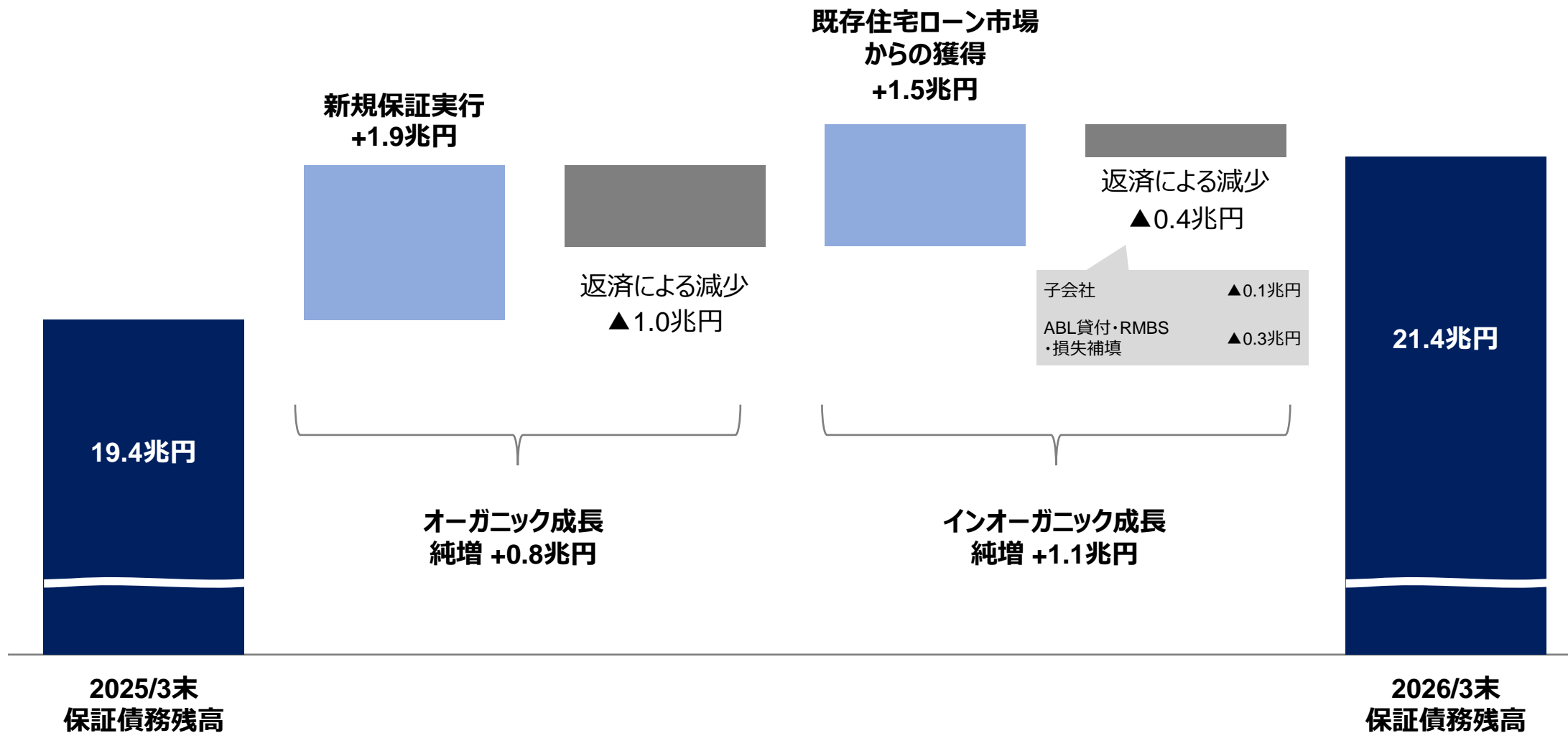
提案可能な市場

民間住宅ローン貸出残高 約210兆円

出所) 住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」

# 保証債務残高の状況

✓ 新規保証実行および既存住宅ローン市場からの獲得により、着実に保証事業の規模を拡大した



2025/3末  
保証債務残高

2026/3末  
保証債務残高

# 保証債務残高の詳細

(単位：億円)

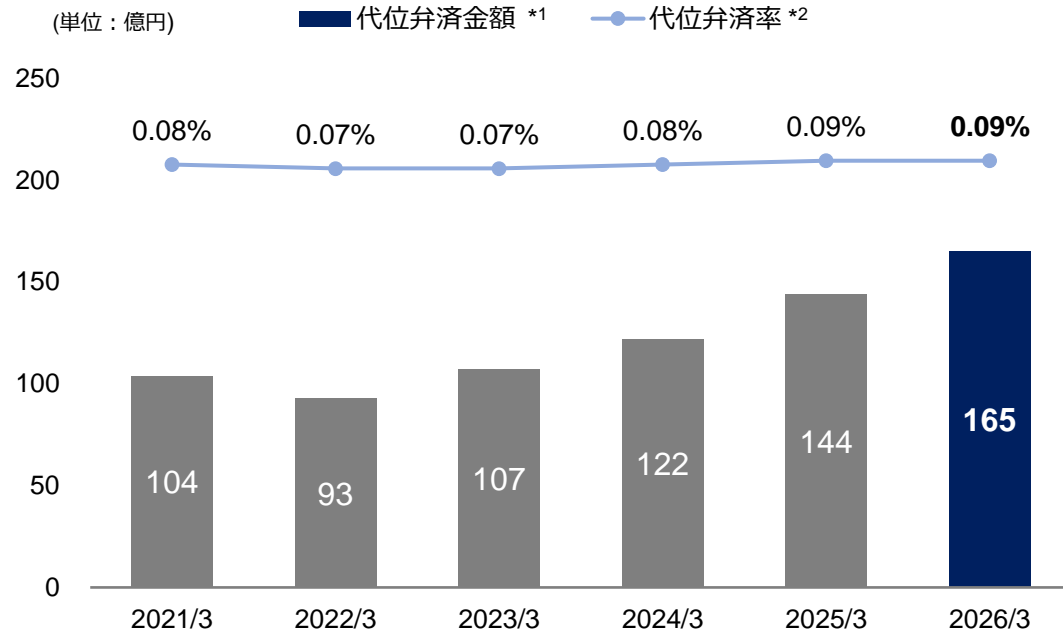
	2023/6	2023/9	2023/12	2024/3	2024/6	2024/9	2024/12	2025/3	2025/6	2025/9	2025/12	2026/3
全国保証	158,058	159,825	161,926	163,473	164,982	166,756	168,667	170,766	172,469	174,507	177,144	179,173
子会社	3,460	3,389	3,328	3,262	3,204	8,623	8,472	11,414	11,213	11,004	10,820	10,595
	● 2023/4 東日本保証サービスを子会社化 (2024/3 筑波信用保証に合併)					● 2024/7 ちば興銀カードサービスを子会社化						
	● 2025/2 三重総合信用を子会社化											
	● 2025/2 東北保証サービスを子会社化 (2026/3 筑波信用保証に合併)											
損失補填*	—	—	—	2,400	2,381	2,360	2,338	2,834	2,811	2,787	2,764	3,779
ABL貸付・RMBS	2,493	3,973	3,975	7,752	8,618	10,534	10,454	9,576	11,394	9,748	13,501	20,746
合計	164,012	167,188	169,230	176,888	179,187	188,274	189,933	194,591	197,889	198,047	204,230	214,294

\* 住宅ローン債権から生じた損失を補償

# 代位弁済および求償債権回収の状況

## 代位弁済

- ✓ 良好な雇用環境が継続しており、代位弁済率は前年同程度
- ✓ 住宅ローン金利上昇による代位弁済率への影響は見られていない

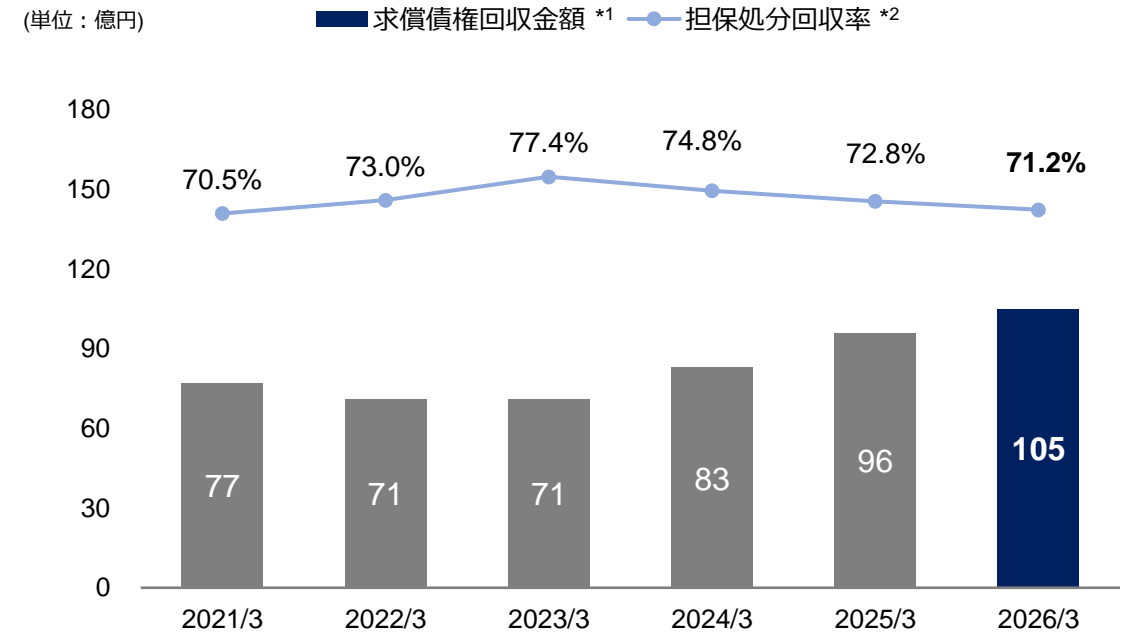


\*1 2023年3月期より子会社を含む

\*2 代位弁済金額÷期首保証債務残高(全国保証および子会社の合計)

## 求償債権回収

- ✓ 都市部を中心とした不動産価格高騰や中古取引件数の増加から、担保処分回収率は高い水準で推移している



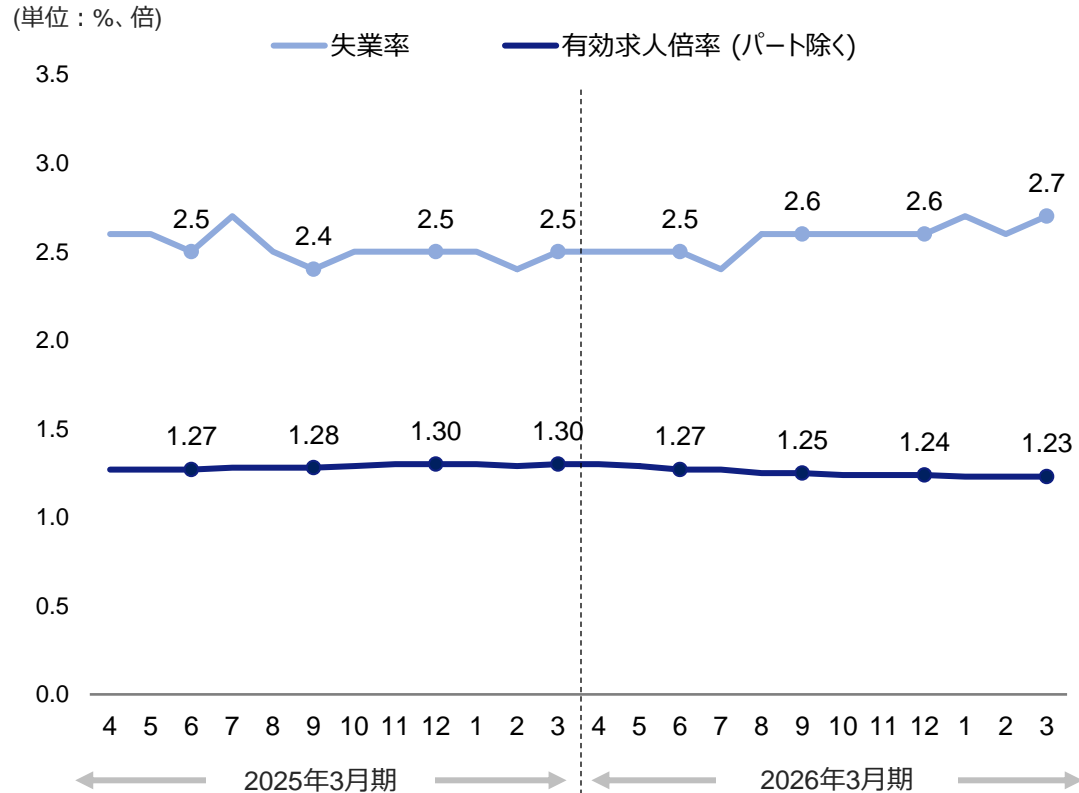
\*1 2023年3月期より子会社を含む

\*2 民間金融機関住宅ローン保証における担保物件の売却(任意売却・競売)による回収割合

# 失業率・有効求人倍率および企業倒産件数

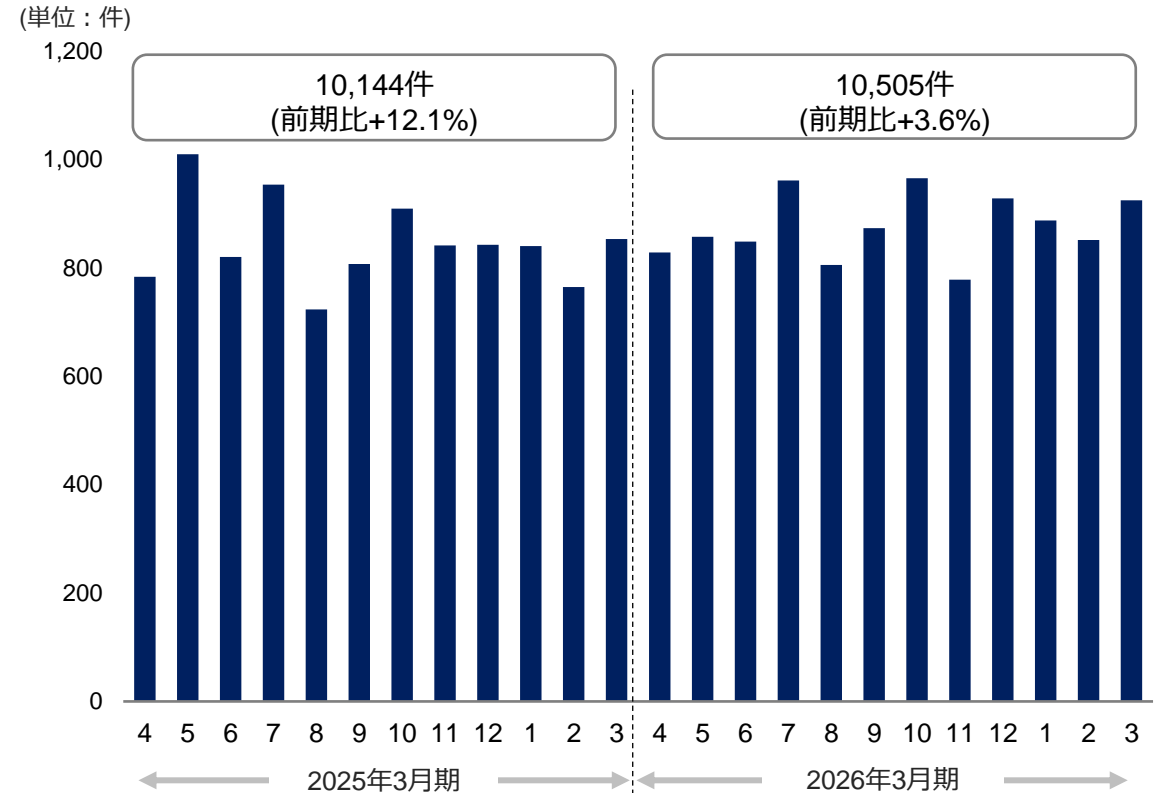
## 失業率・有効求人倍率

- ✓ 労働市場の人手不足が継続しており、失業率や有効求人倍率に悪化の兆候は見られず



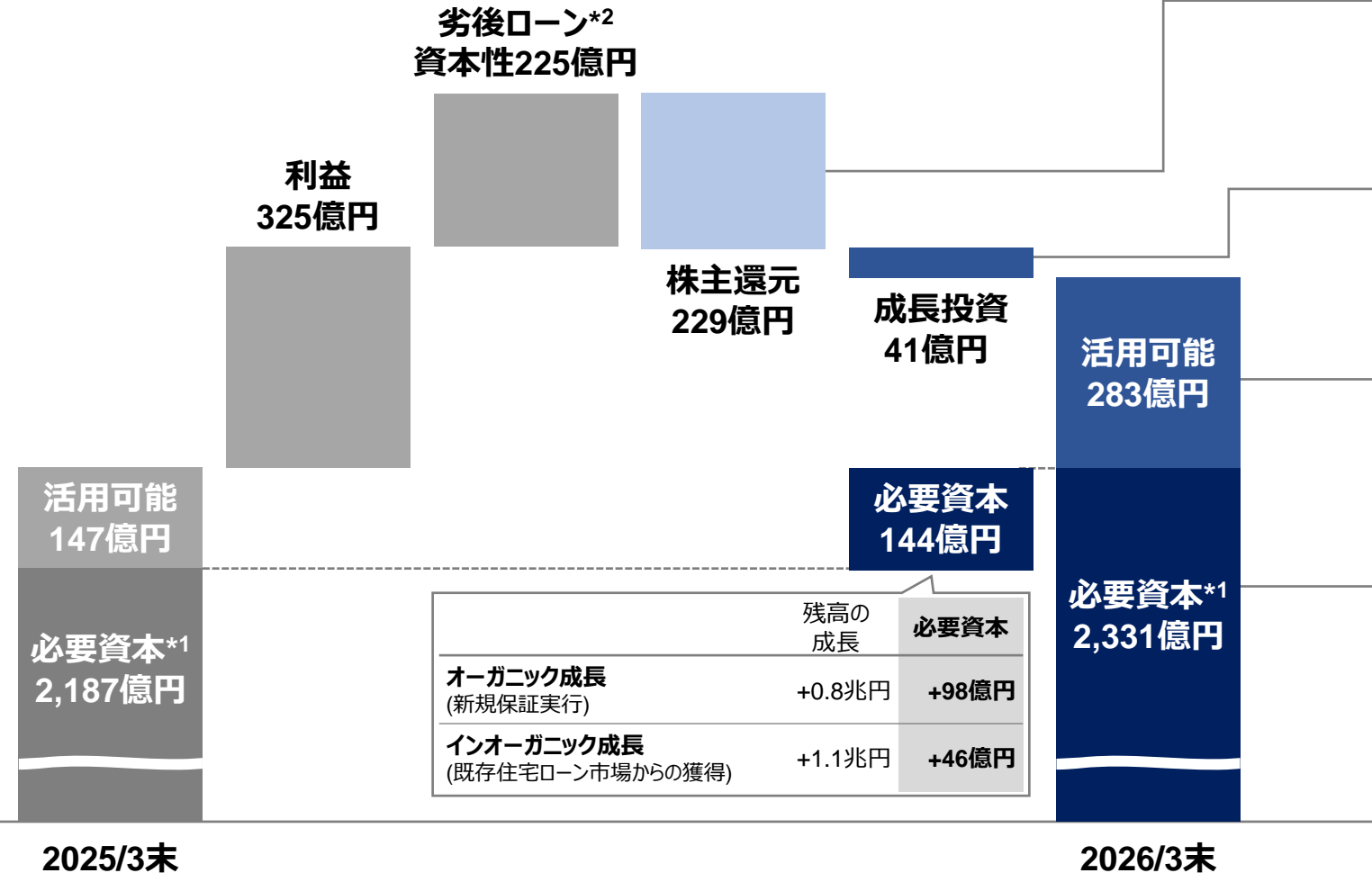
## 企業倒産件数

- ✓ 物価高および人件費上昇等によるコストアップで前年を上回ったものの、増加ペースは鈍化している



# 資本活用実績

✓ 保証会社として必要な資本を確保しつつ、ROE向上のために資本を活用していく



	残高の成長	必要資本
オーガニック成長 (新規保証実行)	+0.8兆円	+98億円
インオーガニック成長 (既存住宅ローン市場からの獲得)	+1.1兆円	+46億円

自社株買い: 69億円 (2025/5-2025/9実施)  
 配当: 159億円 (2026/3期)  
 ・1株当たり配当金120円 (配当性向49.2%)

資本業務提携: 2社 23億円  
 (MFS社、インテリックスホールディングス社)  
 CVCを通じた出資: 9社 18億円

住生活関連分野への投資に活用  
 (ハードルレート10%以上)  
 未使用時は機動的な自社株買いを実施

保証債務残高の成長に伴い、必要資本が増加

	2026/3末	
	保証債務残高	必要資本
全国保証	17.9兆円	2,089億円
グループ会社	1.0兆円	128億円
ABL貸付・損失補填等	2.4兆円	114億円
<b>合計</b>	<b>21.4兆円</b>	<b>2,331億円</b>

\*1 保証債務残高に対して必要な資本。残高×PD×LGD×平均完済期間にて算出。PD、LGD、平均完済期間は過去実績を基に当社にて設定

\*2 劣後ローンの資本性部分(借入残高の75%)

## 協業、 M&A・投資

- ✓ 株式会社MFS、株式会社インテリックスホールディングスと資本業務提携を締結
- ✓ 住宅関連企業などを中心に、シナジーを見込める会社との協業を進めている

株式会社MFS

2025年11月 資本業務提携契約

In+elleX

株式会社 インテリックスホールディングス

2026年2月 資本業務提携契約  
(2026年3月期より持分法適用会社)

## CVC投資

- ✓ 2023年にCVC設立
- ✓ 総額50億円を予定しており2028年度中に出資完了予定

 iYell  
いえーる

 SANU

 ファミトラ

 on call

 Tent

 aba

 Nealle

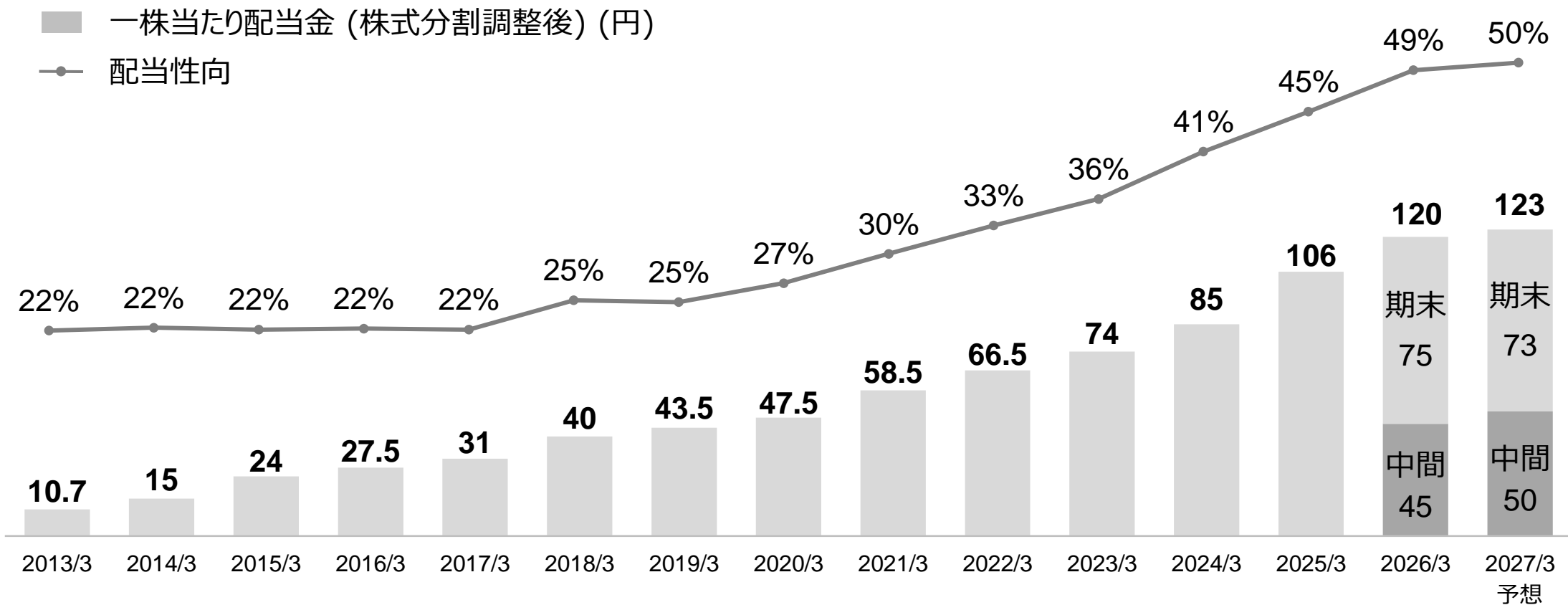
 digdig

 MW

(2026.3.31時点投資先)

# 株主還元

- ✓ 配当性向は50%を維持
- ✓ 安定的・継続的な株主還元を実現し、自社株買いは機動的に対応



自己株取得額 - - - - - - - - - - - - - **69億円 69億円**

1 2026年3月期 決算の概要

**2 2027年3月期 業績予想の概要**

3 参考情報

# 2027年3月期 業績予想

✓ 保証債務残高の積み上げに加えて、与信関連費用の増加ペースの一巡等により増収増益を計画

(単位：百万円)

	2026/3期	2027/3期	前期比
営業収益	58,739	60,600	3.2%
営業費用	17,357	18,600	7.2%
うち与信関連費用	5,550	6,000	8.1%
債務保証損失引当金繰入額	5,983	6,200	3.6%
貸倒引当金繰入額	▲433	▲200	-
うち給料手当及び賞与	2,739	2,900	5.9%
うちその他	9,067	9,700	7.0%
営業利益	41,382	42,000	1.5%
営業外収益	6,317	6,400	1.3%
営業外費用	1,145	1,200	4.8%
経常利益	46,554	47,200	1.4%
特別損益	27	300	1001.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	32,526	32,700	0.5%

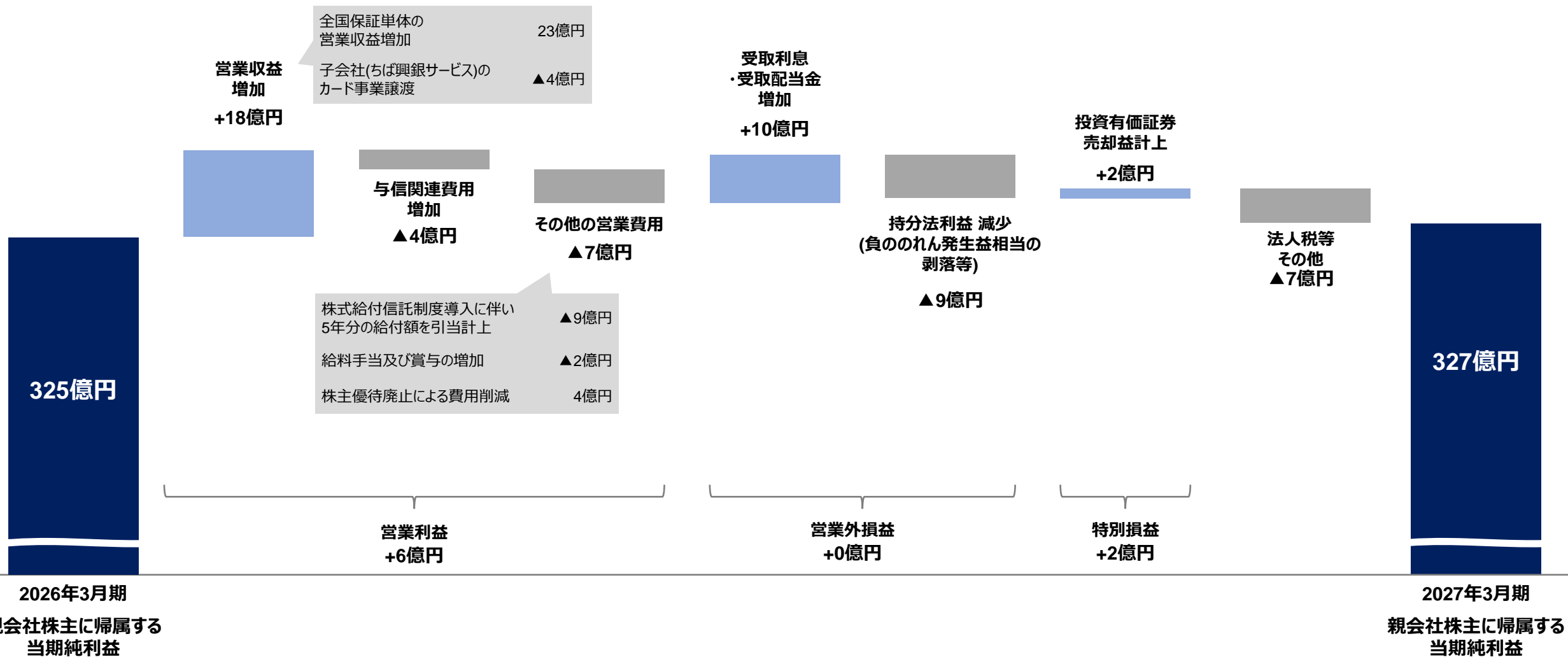
業績予想の前提			
	2026/3期	2027/3期	前期比
保証債務残高*	21.4兆円	22.5兆円	5.0%
新規保証実行金額	1兆9,194億円	1兆9,600億円	2.1%
代位弁済金額	165億円	170億円	2.8%
求償債権回収	105億円	110億円	4.3%

\* 全国保証および子会社の保証債務残高に加えて、RMBS、ABL貸付、損失補填契約の裏付となる住宅ローン債権(一部投資用含む)の合計

主要計数			
	2026/3期	2027/3期	前期比
一株当たり当期純利益	243.70円	予想 246.12円	1.0%
一株当たり配当金	120円	予想 123円	2.5%
ROE	13.4%	目標 14%	-

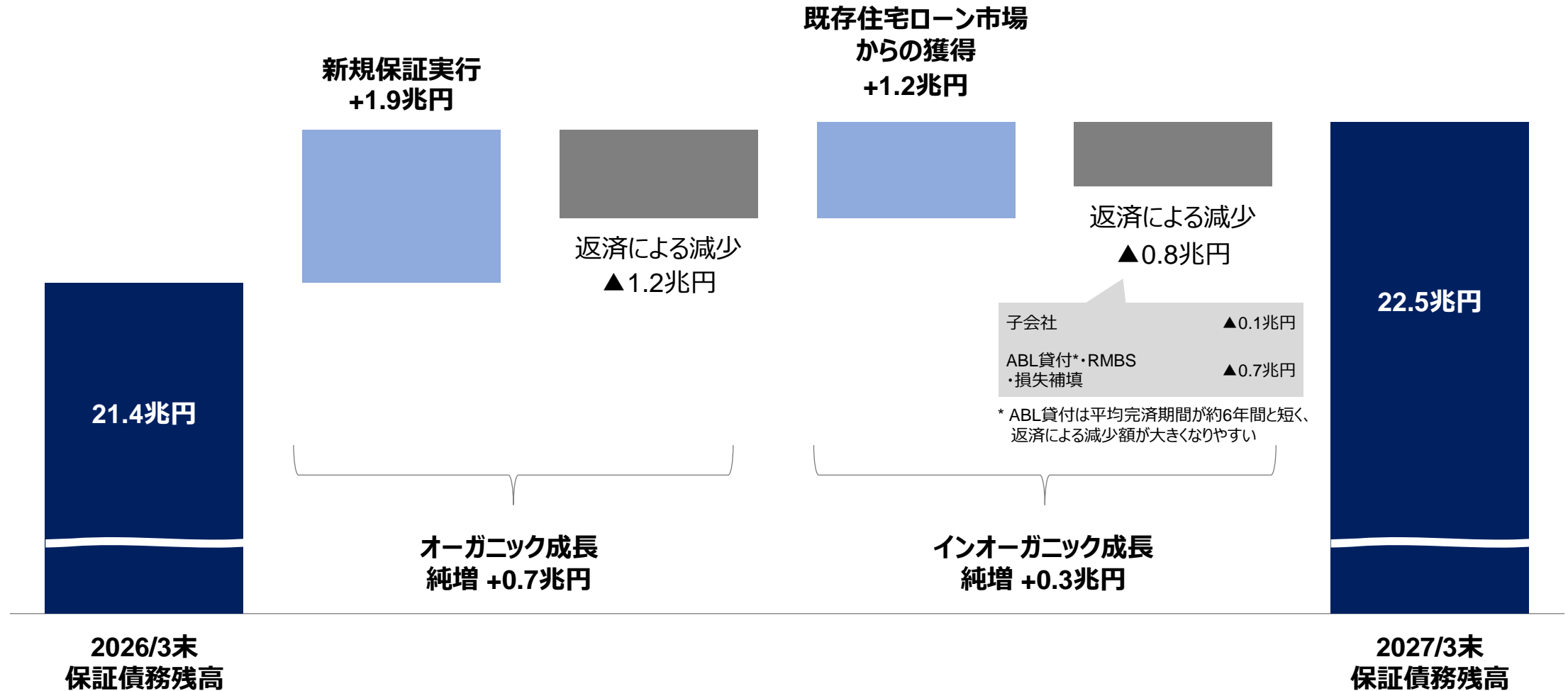
# 親会社株主に帰属する当期純利益の主な増減要因 (2027年3月期 業績予想)

- ✓ 株式給付信託制度導入に伴い、制度期間5年分の給付額(約9億円)を引当計上
- ✓ 負ののれん発生益相当の持分法投資利益が剥落するものの、増益を予想



# 保証債務残高の計画

✓ オーガニック成長により0.7兆円、インオーガニック成長により0.3兆円の純増を計画



1

2026年3月期 決算の概要

2

2027年3月期 業績予想の概要

3

参考情報

# 会社概要

---

<b>名称</b>	全国保証株式会社
<b>設立</b>	1981年2月
<b>事業内容</b>	住宅ローンを中心とする信用保証事業
<b>保証債務残高</b>	21兆4,294億円
<b>店舗数</b>	12店舗 (本社・本支店・営業所)
<b>従業員数</b>	連結378名 / 単体319名
<b>上場市場・証券コード</b>	東京証券取引所 プライム市場・7164 (JPX日経インデックス400構成銘柄) (FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index構成銘柄)
<b>本社</b>	東京都千代田区大手町2-1-1 大成大手町ビル
<b>資本金</b>	107億3百万円

# グループ会社概要

**名称** 株式会社全国ビジネスパートナー  
**本社** 東京都江東区  
**事業内容** 事務受託事業

---

**名称** あけぼの債権回収株式会社  
**本社** 東京都中央区  
**事業内容** 債権管理回収業

---

**名称** みのり信用保証株式会社  
**本社** 東京都中央区  
**事業内容** 信用保証事業

**名称** 筑波信用保証株式会社  
**本社** 茨城県つくば市  
**事業内容** 信用保証事業

---

**名称** ちば興銀カードサービス株式会社  
**本社** 千葉県千葉市  
**事業内容** 信用保証事業、クレジットカード事業

---

**名称** 三重総合信用株式会社  
**本社** 三重県松阪市  
**事業内容** 信用保証事業

# 全国保証のビジネスモデル

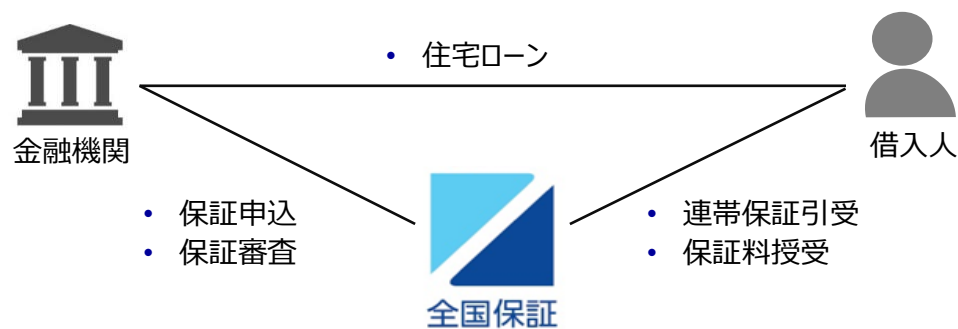
✓ 国内唯一かつ最大の独立系住宅ローン保証会社として金融機関が抱える様々な課題を解決

## 民間住宅ローン市場規模

新規貸出市場	貸出残高市場
<p>新規貸出金額は 年間約21兆円 (当社シェア9%)</p> <p>2026年3月期実績</p>	<p>既存貸出残高は 約210兆円 (当社シェア10%)</p> <p>2026年3月末時点</p>

\* 住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」を基に当社にて算出

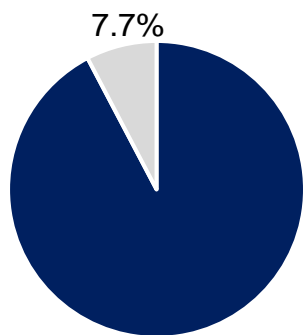
## 当社は住宅ローン保証の連帯保証を引き受ける会社



- ✓ 保証債務残高に応じて一括または分割で保証料を受領
- ✓ 各年の保証債務残高に応じて収入保証料として収益に計上
- ✓ 保証債務残高積み上げによる安定継続した収益を確保

## 保証会社の利用状況

保証会社を利用しない

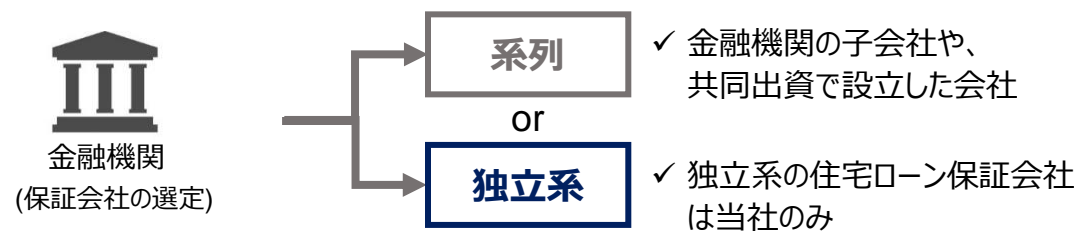


保証会社を利用する

92.3%

✓ 金融機関の  
多くは保証会社を利用している

## 保証会社は系列もしくは独立系の二択



系列会社の利用に  
存在する課題

国内唯一の独立系住宅ローン保証会社として  
様々な課題を解決

\* 独立系保証会社：金融機関の子会社または関連会社でない住宅ローン保証会社

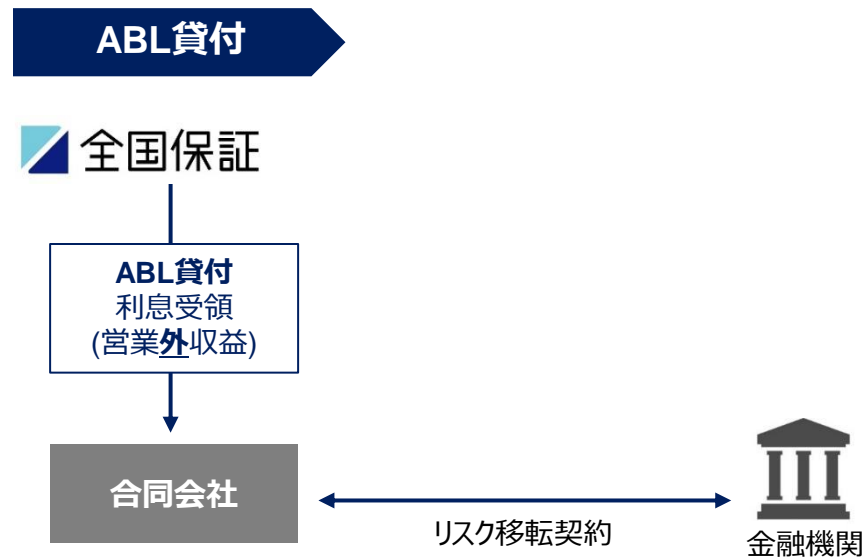
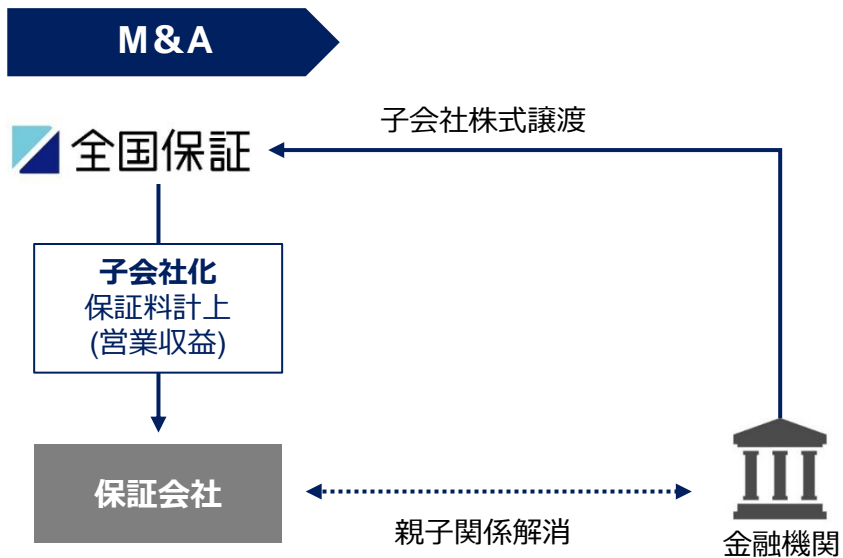
# インオーガニック成長の手法一覧

	オーガニック成長 新規保証実行	インオーガニック成長			
		①M&A	②ABL貸付	③RMBS取得	④損失補填*
契約内容	保証委託契約	株式譲渡契約	リスク移転契約	劣後受益権売買契約	損失補填契約
BS	保証債務(簿外)	保証債務(簿外)	長期貸付金	投資有価証券	損失補填に係る債務(簿外)
PL	営業収益 保証債務残高×保証料率	営業収益 保証債務残高×保証料率	営業外収益 長期貸付金×利率	営業外収益 有価証券×利回り	営業収益 劣後受益権×補填料率
取得にかかる 現預金拠出	なし	なし	あり	あり	なし
必要資本	保証債務残高から 発生する損失を平均 完済期間に応じて計上	保証債務残高から 発生する損失を平均 完済期間に応じて計上	裏付債権額から 発生する損失を 平均完済期間に応じて計上	裏付債権額から 発生する損失を 平均完済期間に応じて計上	裏付債権額から 発生する損失を 平均完済期間に応じて計上
平均完済期間	15年	15年	6年	15年	6年
実績 2026年3月末時点	保証債務残高 17兆9,173億円	100%子会社化 6社 保証債務残高 1兆595億円	裏付債権額 2兆536億円 長期貸付金計上額 225億円	裏付債権額 210億円 有価証券計上額 39億円	裏付債権額 3,779億円 損失補填対象となる 劣後受益権567億円

\* 住宅ローン債権から生じた損失を補償

# 各手法の概要図

✓ インオーガニックのスキームは多様化、いずれも当社がリスクを引き受けることにより収益を獲得



\* 住宅ローン債権から生じた損失を補償

# 主要計数推移 (5年分)

損益計算書	単位	2022/3期*1	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
営業収益	百万円	48,842	50,272	51,638	56,972	58,739
営業費用	百万円	9,371	10,387	12,536	14,997	17,357
うち与信関連費用	百万円	2,171	2,073	3,382	4,096	5,550
うち給料手当及び賞与	百万円	1,718	2,154	2,287	2,594	2,739
うちその他	百万円	5,481	6,159	6,866	8,306	9,067
営業利益	百万円	39,470	39,884	39,102	41,974	41,382
経常利益	百万円	40,551	41,456	41,581	44,518	46,554
当期純利益	百万円	27,835	28,584	28,796	32,089	32,526

主要計数	単位	2022/3期*1	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
保証債務残高	億円	153,941	161,560	176,888	194,591	214,294
うち単体・子会社	億円	153,564	159,449	166,735	182,180	189,768
うちRMBS・ABL貸付・損失補填*2	億円	377	2,111	10,152	12,411	24,526
新規保証実行金額	億円	16,696	15,730	17,164	17,889	19,194
代位弁済金額	百万円	9,396	10,778	12,256	14,496	16,537
求償債権回収金額	百万円	7,124	7,103	8,300	9,685	10,545

\*1 2023/3期より連結決算に移行している為、2022/3期は単体決算の数値を記載

\*2 RMBS・ABL貸付・損失補填については対象となる裏付債権額を記載

# 免責条項および将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、全国保証株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2026年5月8日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提や当社独自の判断に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。